

# 羽ばたこう 立志の丘から



平成29年8月30日

No.18

## 田沢湖駅伝 女子3位入賞！ 全県へ

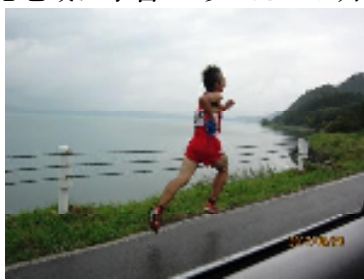
8月29日、「第47回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会」及び「第22回大曲仙北中学校女子駅伝競走大会」が行われ、本校からは男子A B、女子A Bの4チームが参加しました。



この夏に特設された駅伝部員は、夏休み中も早朝からの練習を重ね大会に臨みました。その結果、女子Aチームは5区間を常に上位で襷をつなぎ、見事3位入賞を果たしました。おめでとうございます。



男子Aチームも12位と大健闘でした。男子B、女子Bチームも粘り強く襷をつなぎ、来年への布石となるレースでした。お疲れ様でした。結果としては、女子の入賞でしたが、この夏、駅伝部として、走り抜いた仲間力が示されたものと思います。また、選手たちが走り抜いた一か月は、西仙北地域に水害のあった一か月でもあり、被害に遭われた方々に、少しでも元気の出る話題を届けられればという想いも選手たちにはありました。保護者の皆様にも、試走等においてご支援を賜り、チーム西仙北を支えていただきました。ありがとうございました。



なお、全県駅伝大会は、9月23日開会式、24日レースで秋田市雄和の県営陸上競技場周回コースで行われます。応援よろしくお願いいたします。

## 8/21 大仙市中学生サミット開催

8月21日は、大仙市中学生サミットが開催され、本校からは、3年生佐々木君と、2年生金子さんが参加しました。

このサミットは、「こころふれあうさわやか大仙事業」の一環として平成19年度から市内の全中学校が参加し、「あいさつ」や「環境」などを主なテーマに掲げて、生徒による話し合いと具体的活動（共通実践）を進めてきているサミットです。今年度

は、「大仙市の未来は私たちがつくる」のメインテーマのもと、小学生の参加も募り小・中連携の輪を広げるとともに、子どもたちによる「大仙未来プロジェクト」として地域活性化を目指すサミットとなりました。

第1部では、中学校の地域活性化に関わる取組と、小学校の「大仙ふるさと博士」「グローバルジュニアマイスター」の実践発表がありました。また、第2部では、「自分たちでつくる安心・安全」という



ことで、仙北中学校から「避難所開設訓練・生徒会によるヘルメット着用に向けた取組について」の発表があり、その後、全体での協議が行われました。本校の二人も積極的に意見交換をしました。

大仙市、秋田県の未来を担うたのもしい子どもたちです。

## 全国学力・学習状況調査 結果

4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

本校3年生の学力の状況は、国語A B、数学A B共に国の平均正答率を大きく上回るとともに、県の平均正答率との比較においては、数学Bが同じ平均正答率で、国語A B及び数学Aは、数ポイント上回っており、おおむね望ましい状況にあるととらえられます。

質問紙や学習アンケート結果からは、本校の生徒の状況は次のように考えられます。



### ① 学校生活について

- ・3年生の「学校が楽しい」、「自分にはよいところがある」の割合が4月に比べると上昇している。学校行事や部活動などリーダーとして役割を果たしていることが上昇理由として考えられる。

- ・各学年とも家庭での学習時間は、平日は1時間以上取り組んでいる生徒が多く、2時間以上学習している生徒の割合が増加傾向にある。しかし、土日の学習時間が平日ほど多くない。
- ・1, 2年生は「勉強が好き」の割合が低下傾向にある。「勉強がよくわかる」とも関係しているように思われる。学習内容が難しくなってきたのが原因か？
- ・「学校が楽しい」と答えた生徒が、全学年とも4月に比べる減少している。特に2年生の減少幅が大きい。
- ・自分にはよいところがないと思っている生徒が比較的多い。

## ② 各教科について

- ・各教科の好きな理由として、「おもしろい」、「考えるのが好き」が多い。
- ・「社会に出たとき、役立つ」を好きな理由として多く挙げられている教科がある。
- ・嫌いな理由として、各教科とも「不得意」が多い。
- ・1年生の「教科の学習に興味がない」が他学年より多い。4月に比べても増加傾向にある。
- ・「わかりにくい」と感じている教科もあるようなので、授業改善を行う必要がある。

このような状況を踏まえ、まず「授業の充実」が大切と考え、本校教員は、授業のねらいとする



ゴールを明確化し、資料提示などを工夫するとともに、学び合いの焦点化などに努めることを確認して、「主体的・対話的で深い学び」に至る授業改善を行うよう研修をしております。また、指名や返事、発表の音量や態度等の学習規律も確認して、生徒の学力の向上を図ろうとしております。

3年生の望ましい学習状況調査結果は、生徒たちの努力、教員の指導、ご家庭の支援があつての結果であり、この状況が、1・2年生にも確実に引き継がれるよう全校体制での指導に努めますので、ご家庭のご支援の継続をお願いいたします。

## 英語暗唱弁論大会 優秀賞！

8月25日、「平成29年度 大曲仙北中学校英語暗

唱弁論大会」が、美郷町公民館で行われました。この大会は、69回を数える伝統ある大会です。本校からは、暗唱の部に3年生の佐々木君が、弁論の部に同じく3年生の寺山さんが参加しました。両部門合わせて33名の参加でした。



佐々木君は「The Home Planet (母なる惑星)」を発表し、寺山さんは「A Bridge for the Future (未来への架け橋)」と題して論じました。「緊張したけれど、練習してきたことを十分に生かし最高の出来でした。」と感想を述べた二人でした。結果は、二人とも優秀賞でした。素晴らしい結果です。おめでとうございます。また、夏休み中の取り組みお疲れ様でした。

二人は10月8日の学校祭でも発表してくれる予定です。楽しみにしてください。

## 田沢湖駅伝での大健闘を

### 讃える全校生徒・卒業生

田沢湖駅伝で大健闘した選手が学校に到着すると、「3位入賞おめでとう 大健闘12位」の一文を玄関に掲示して、全校生徒と、駅伝の入賞を聞いて駆けつけてくれた卒業生第二期生の皆さんが出迎えました。



選手は初めはびっくりしたようですが、温かいお祝いの拍手と歓声に、満面の笑みを浮かべました。そして、応援団から「頑張った！」のエールが送られると、主将二人は「皆さんの応援のお陰でもてる力を十分に発揮できました。ありがとうございました。」と応えておりました。

駅伝に懸ける想い、成果は、西仙北中学校の伝統になりつつあるように思います。全校生徒が、一緒に友達の健闘を讃え合うことができ、学校がまた一つにま



とまった気がした瞬間でもありました。友達の喜びを自分の喜びにできる素直な生徒たちに讃辞を贈ります。生徒たちの頑張りは、災害に遭われた地域の方々に少しは元気を届けられたでしょうか。